



森林総合研究所関西支所創立 60 周年記念講演会

森林の研究を 過去から未来へとつなぐ



平成 19 年 **10** 月 **10** 日(水) 13 時 20 分～ 16 時 30 分 (開場 13 時)

- 会 場 京都市アバンティホール (JR 京都駅八条口前アバンティビル 9F)
- 主 催 独立行政法人森林総合研究所 関西支所 <http://www.fsm.affrc.go.jp/>
- 後 援 京都市教育委員会／京都市内博物館施設連絡協議会
- お問い合わせ 森林総合研究所 関西支所 連絡調整室 TEL 075-611-1201 (代表)

■ 講 演

人の営みと自然の変遷－マツ林を例として－

只木 良也 (国民森林会議会長／名古屋大学名誉教授)

松くい虫研究の 100 年を振り返る－ 21 世紀の自然との共生を目指して－

小林 一三 (元 森林総合研究所長／秋田県立大学名誉教授)

竜ノ口山の森林理水試験－ 70 年間の記録から－

細田 育広 (主任研究員 (森林環境研究グループ))

数える、防ぐ、ときどき食べる－森林保全を目指した野生動物管理－

高橋 裕史 (主任研究員 (生物多様性研究グループ))

平成 19 年 4 月 1 日、(独)森林総合研究所と(独)林木育種センターが統合し、新たに(独)森林総合研究所が発足しました。新生(独)森林総合研究所の近畿・中国地域における二つの拠点、関西支所と林木育種センター関西育種場の組織と活動の概要についても会場でパネルにてご紹介いたします。

※参加は無料です。事前に申し込みの必要はありませんので、お気軽にお越し下さい。